



ボランティア情報3月号

～ひろげよう！ボランティアの輪を！～



拡大版



令和8年度
ボランティア
活動保険の受付
始まりました



令和7年度ボランティア活動保険は
令和8年3月31日で補償が終了します。

▶ボランティア活動保険は、ボランティア活動中に起こる様々な事故に対する備えとして無償で活動するボランティアの方々のために補償するものです。活動する側も受け入れ側も双方が安心して活動するために保険への加入をお勧めしています。

▶保険期間: 令和8年4月1日～令和9年3月31日
(※中途加入も補償は3月31日まで)
▶基本プラン350円 天災・地震プラン500円



令和7年度の活動保険の事故報告(令和8年1月末現在)は7件ありました!
活動中の事故が増加しています。忘れずに早めの加入をお願いします。

○内容(一部)

- ・ボランティア先の施設のガラスを破損した
- ・病院入口のマットで転んだ
- ・保育園の玄関までの段差でつまづいて転んだ などです。



講座情報



	音 訳 講 座	手話 入 門 講 座	手話 基 礎 講 座		点 訳 講 座
内 容	視覚障がい者のための 広報や録音図書などの 製作に携わる音訳ボラ ンティアの養成講座で す。	手話であいさつ、自己 紹介程度の会話ができ るまでの技術習得を目 指します。	特定の聴覚障がい者と手話で日常会話ができ るまでの技術習得を目指します。 ※入門講座修了者が対象です		点字で製作に携わる点 訳ボランティアの養成 講座です。
日 時	5/20～8/5の水曜日 10:00～12:00 【全10回】	6/18～12/3の木曜 日 18:45～20:45 【全24回】	昼の部 6/18～11/26の木曜 日 10:00～12:00 【全23回】	夜の部 6/16～12/8の火曜 日 18:45～20:45 【全23回】	7/2～9/10の木曜日 13:30～15:30 【全10回】
人 数	20名	40名	10名	10名	15名
費 用	無料	テキスト代4,290円 (税込)	※入門講座(R7年度)のテキストを使用		テキスト代1,540円 (税込)
市 広 報 と や ま	3月20日号(予定)	4月20日号(予定)			5月20日号(予定)
共通要項	【開催場所】富山市総合社会福祉センター(今泉83-1) 【問合せ先】社会福祉法人 富山市社会福祉協議会 〒939-8640 富山市今泉83-1 ☎422-3400 📠422-2684 ✉zaitaku@toyama-sfk.jp ※詳細は市広報とやまをご確認ください。				

●富山市公募提案型協働事業

企 画 提 案 団 体 募 集

「公募提案型協働事業」
…ってなに？

あなたのまちづくりのアイデア
をいっしょに実現しませんか？



まちづくりのアイデアを、提案者である市民団体(ボランティアグループ、NPO法人など)の皆さんが市といっしょに実行し、地域の課題解決に取り組む事業です。

- 【交付額】 対象経費の80%相当額(上限30万円)
- 【対象】 市内に主たる事務所、活動場所があり、1年以上の活動実績がある5人以上の市民活動団体(企業参加も可能)
- 【募集内容】 提案団体と市が協働して取り組むことで、地域課題や社会的課題の解決が図られる事業など
- 【募集期間】 令和8年3月30日(月)～4月10日(金)
※必ず、応募前に市民協働相談課までご相談ください。
- 【募集説明会・事業報告会】 令和8年4月5日(日)14:00～
TOYAMAキラリ(西町5-1)
- 【採択事業決定(審査会)】 令和8年5月17日(日)

富山市公募提案型協働事業
(ページ番号1004794)



検索

【問合せ先】富山市 市民協働相談課
〒930-8510 富山市新桜町7-38
TEL:076-443-2051
E-Mail:siminkyodo@city.toyama.lg.jp

お ら っ ち ゃ 雪 か き 隊

12月下旬から1月にかけて雪の日が続きましたが、多くのボランティアさんにご協力をいただくことができました。ありがとうございました。

○登録ボランティア

市内企業・ボランティア 52団体 409名 個人59名

○派遣回数30回(1月末現在)(団体)13回(個人)17回



社会福祉法人 富山市社会福祉協議会
富山市ボランティアセンター

ホームページは
こちら
↓



〒939-8640 富山市今泉83番地1
TEL 076-422-2456 / FAX 076-422-2684
メール t.volunteer@toyama-sfk.jp
ホームページ http://www.toyamacity-vc.jp/

【開館日】

月～金曜日(土日祝、年末年始は休み)

【アクセス】

富山地方鉄道

・不二越・上滝線「南富山」から徒歩5分

・市内電車「南富山駅前」から徒歩5分



大沢野細入ボランティアセンター

〒939-2224 富山市春日96番地1 ☎ 467-1294

大山ボランティアセンター

〒930-1312 富山市上滝534番地1 ☎ 483-4111

八尾山田ボランティアセンター

〒939-2376 富山市八尾町福島200番地 ☎ 454-2390

婦中ボランティアセンター

〒939-2603 富山市婦中町羽根1105番地7 ☎ 469-0775



LINE
公式アカウント

友だち募集中!!



ボランティア依頼しませんか？

当センターには様々な特技を持ったボランティアが登録しており、右記QRコードから登録団体・個人の一覧を見ることができます。依頼方法や、どんなボランティアが活動しているのかも是非チェックしてください。





活動紹介



今回『手話サークルうさぎの会』と『ほりかわニコニコ食堂』にインタビューしました。



手話サークルうさぎの会

2007年7月7日設立

『手話サークルうさぎの会』の会員は約40名で毎週土曜日、午後7時半から9時まで富山市総合福祉センターで活動しています。ろう者(耳の不自由な方)と交流しながら手話を真剣に学んでいます。手話体験イベント、時にはクリスマス会やバーベキューをしたり、スポーツなどで身体を動かしたりしながら交流を深めています。



Q1. 設立のきっかけは？

手話の学びを通して、ろう者が楽しく交流する場を作りたいと思ったのがきっかけです。



Q2. 苦労したこと、困ったこと、楽しかったことは？

苦労したことは、サークルの雰囲気になれていない、手話の仲間の輪に入れない方もいて、思ったようにメンバーが集まらなかったことです。

困ったことは、活動場所をどこにするか、交通手段をどうするかといったこともあって、サークル設立に3年かかったことです。活動場所と交通手段が見つかり、やっと2007年7月うさぎの会を設立し、スタートしました。

楽しかったことは、手話体験イベントを通して、耳が聞こえる聞こえないという関係を通り越した交流ができたことです。

Q3. 継続のコツ？

19年目になりますが、一つ一つ経験や体験を積み重ねていくことが大事だと思います。



12月クリスマス会

Q4. サークルでアピールしたいことは？

ろう者が立ち上げたサークルであるため、ろう者とコミュニケーションを取りたい方はぜひサークル見学に来て下さい。



Q5. 今後どうしていきたいか？

ろう者も健聴者も関係なく、いろんな行事を企画して、楽しく交流していきたいと考えています。うさぎの会20周年記念を目指して頑張りたいと思います。

富山市内には、『手話サークルうさぎの会』の他10団体の手話サークルが活動しています。うさぎの会の活動を見学されたい場合は富山市ボランティアセンターまで連絡下さい。

また、ボランティアセンターでは手話入門講座や基礎講座を開催しています。手話に興味がある方、やってみたいという方は富山市ボランティアセンターまで相談して下さい。



手話勉強の様子



ほいかわニコニコ食堂



令和8年1月12日(木)堀川地区センターで地域食堂をプレオープンしました。当日は93名(大人67名 子ども26名)の参加者でした。堀川校下の民生委員・児童委員4名を中心に30名のボランティアが運営しており、10代~60代までの方が活躍しています。

当日のスケジュール

12:30~15:30

ボランティアによるチキン
野菜スープの提供

ボランティアによるヨガ教室、
英語・日本語両方での紙芝
居読み聞かせ



食事の様子



Q1. 地域食堂をプレオープンさせたきっかけは？

校下では地域食堂の活動を行っている団体が少なく、多世代で交流できる機会が少ないことや能登の震災をきっかけに災害時の食事等の提供体制や日頃から住民同士で支え合う関係が不足していることを実感したからです。これらの課題を解決し、地域力強化を目指して活動を始めました。



Q2. 地域食堂を始めるにあたり苦労したことは？

こちらから直接、様々な人や組織、飲食店等に出向き連携した活動を大切に行っています。特定の人に業務の負担が集中することのない運営体制を確保していくことに苦労しました。また、食事の提供に焦点があたってしまうことから住民全体の交流の場でもあるという認識が広まらず、その考えを普及・啓発していくことも大変でした。



Q3. 今後、どのような活動をしていきたいですか？

4月以降は月1回開催の予定です。近くの飲食店に協力を依頼し、お店のメニューを提供することになっています。子どもからお年寄りまでを対象とした地域食堂であるという強みを活かし、今後は幅広い世代で交流できるような取り組みを実施していきたいです。



Q4. 最後に、読んでいる方に一言お願いします。

ニコニコ食堂に関わる全ての方がこの活動に参加してよかったと思ってもらえるような活動を目指していきたいです。そのためにも、強い思いを持って、ボランティアスタッフの皆さん、地域の企業、**富山市社会福祉協議会等とも連携、協力**しながら、長期間活動に取り組んでいきたいです。



英語、日本語両方での紙芝居の様子

